

Nittobo

血清・血漿又は尿中尿素窒素測定用試薬

N-アッセイ

LUN-S

ニッポー

【特長】

- ① 直線性上限は500mg/dLとなっており、低域から高域まで良好な直線性を有します。
- ② iCDHを利用したアンモニア除去能に優れた酵素法試薬です。

N-アッセイ L UN-S ニットーボー

測定原理 (iCDHによるアンモニア消去法)

検体中の尿素からウレアーゼの作用によりアンモニアを生成します。試薬中の α -ケトグルタル酸とアンモニアは、グルタミン酸脱水素酵素 (GLDH) の作用により、グルタミン酸に変わります。この時、GLDHの補酵素NADPHの減少の割合を測定して検体中の尿素窒素量を求めます。

参考データ

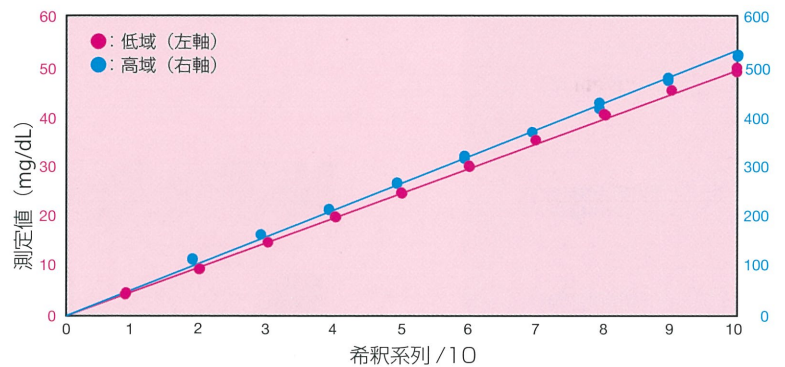
自社、日立7180形自動分析装置にて測定

血清・血漿検体測定データ

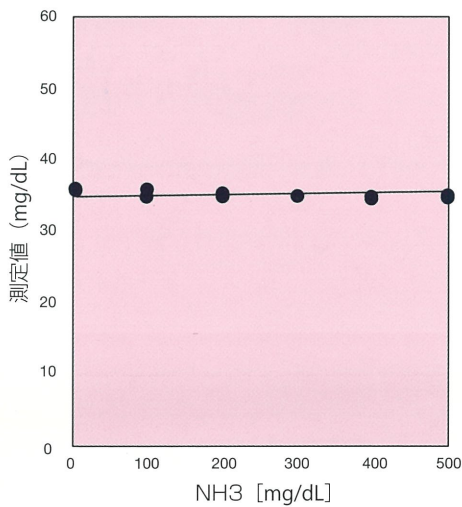
【同時再現性】

	検体 I	検体 II
データ数	20	20
平均値	18.64	58.15
標準偏差	0.18	0.42
最大値	19.0	58.7
最小値	18.4	57.1
範囲	0.7	1.6
変動係数	0.96 %	0.73 %

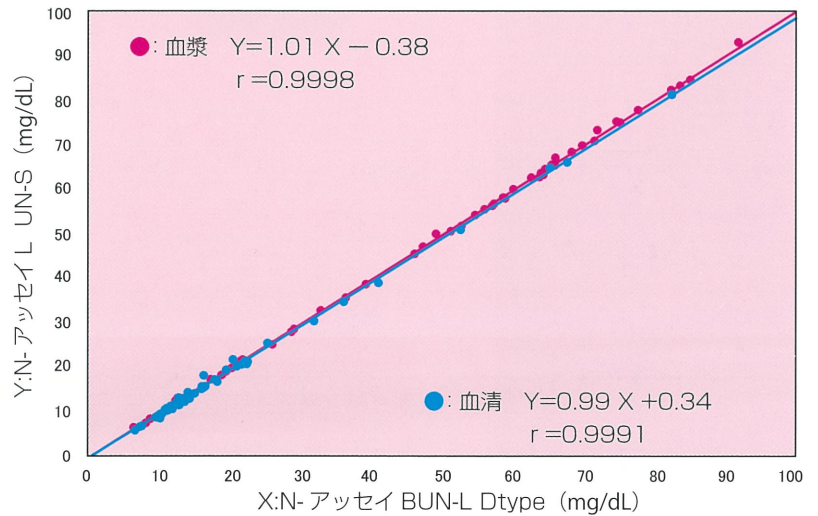
【直線性】



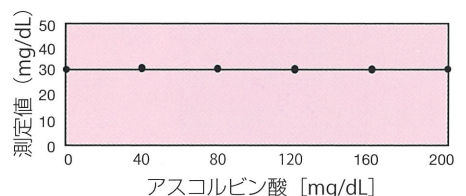
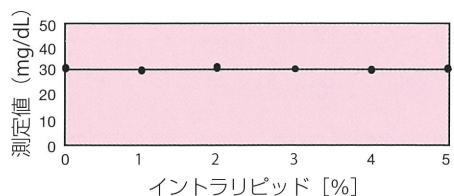
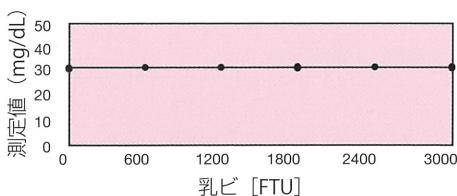
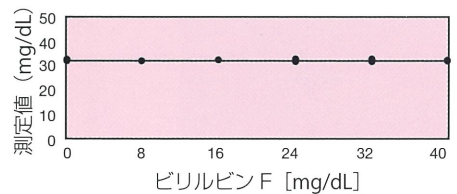
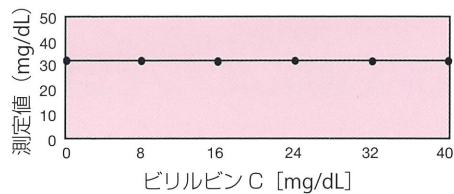
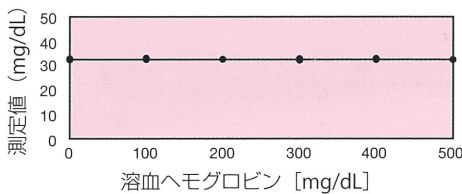
【アンモニアの影響】



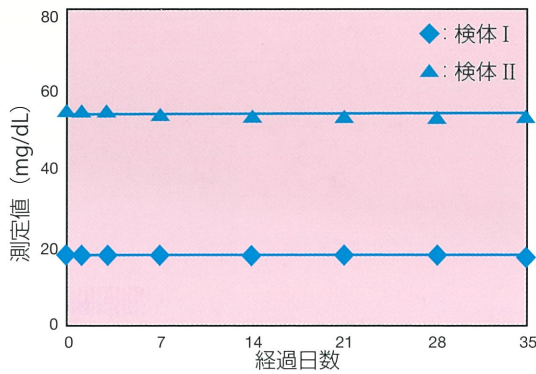
【相関性】



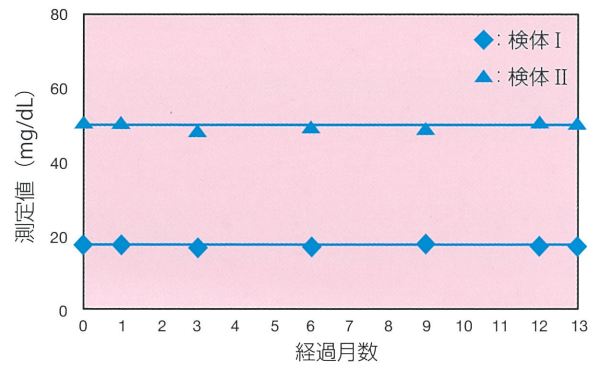
【共存物質の影響】



【開封後安定性】



【長期保存安定性】

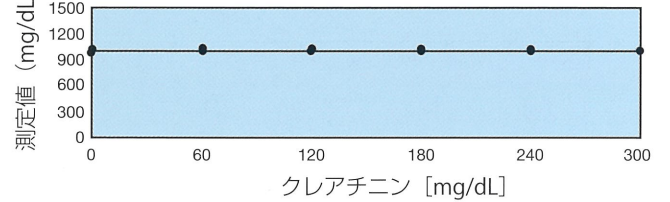
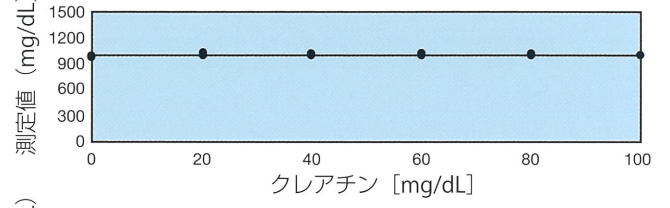
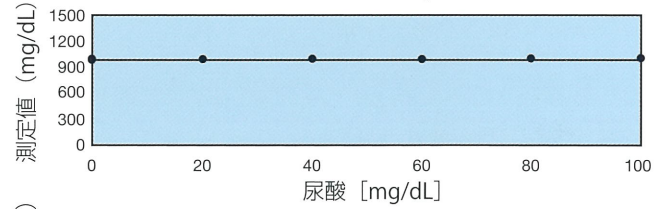
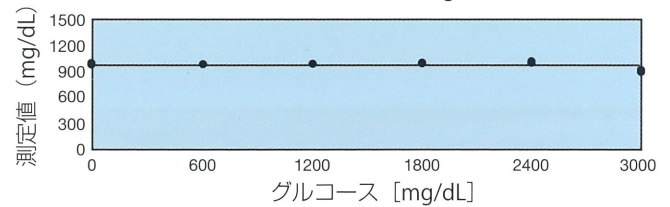
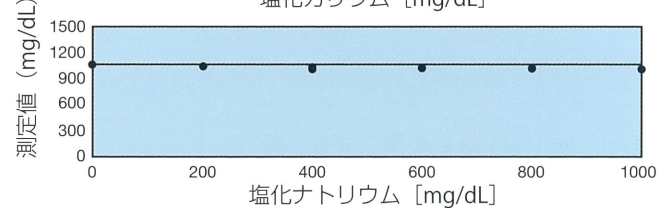
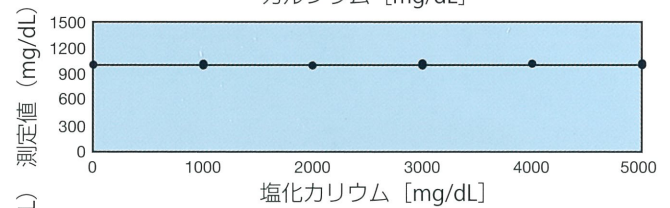
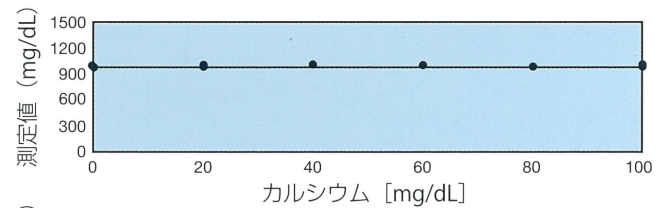


尿検体測定データ ※1/10自動希釈にて測定

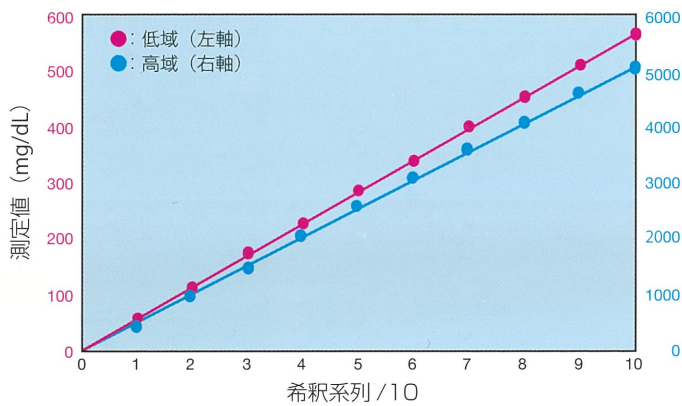
【同時再現性】

	検体 I	検体 II
データ数	20	20
平均値	402.54	742.64
標準偏差	4.40	4.76
最大値	411.8	750.2
最小値	391.1	734.6
範囲	20.7	15.6
変動係数	1.09%	0.64%

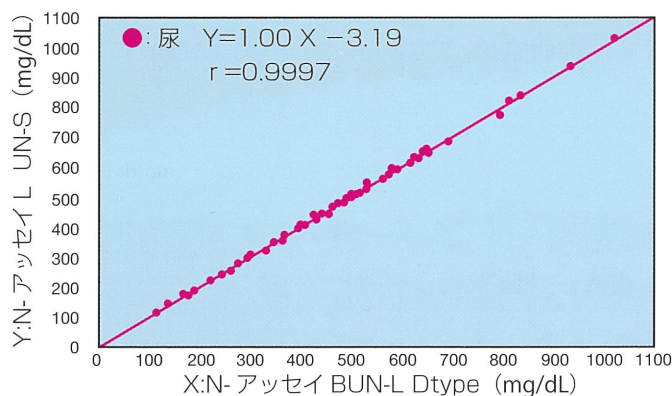
【共存物質の影響】



【直線性】



【相関性】



包装単位

商品名	商品コード	R-1/R-2	包装	開封後安定性
N-アッセイ L UN-S ニットーポー	12389112	R-1	60mL×2本	1 ヶ月
	12389212	R-2	15mL×2本	1 ヶ月

*各自動分析への適応は、別途パラメータをご請求ください。

貯法・有効期間

貯法	2～10℃で保存
有効期間	製造後1年間

最終使用期限は容器ラベルおよび外箱に記載してあります。

主要文献

- ① 金井正光編著, 臨床検査法提要, 改訂30 版, 金原出版, 東京, 508-512(1993)
- ② 折田義正, 安東明夫, 三上裕司, 阿部裕, "BUN", 日本臨床, 40 (秋季増刊), 187-189(1982)
- ③ 折田義正, "尿素窒素(BUN), 非蛋白窒素(NPN)", 日本臨床, 43 (秋季増刊), 243-246(1985)
- ④ 森本健二郎, 臨床検査機器・試薬, 16(4), 667-674(1993)
- ⑤ 村井哲夫, 臨床検査機器・試薬, 17(4), 675-682(1994)
- ⑥ 風間武, 日本臨床検査自動化学会誌, 20(1), 81-87(1995)

製造販売元：**ニットーポーメディカル株式会社**
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地
問い合わせ先 ニットーポーメディカル株式会社
TEL:03-4582-5420 FAX:03-3238-4590